

# 東武動物公園 ニュースリリース

動 27-18 号  
平成 27 年 8 月 10 日

## 「スピカ」、「リーフ」展示再開！ ホワイトタイガーの子どもたちの脚の診療結果 其三

東武動物公園(東武レジャー企画株式会社 埼玉県宮代町 社長:日置岳人)では、7月24日に右膝の手術をしたホワイトタイガー(名前:スピカ)の展示を、8月3日より再開しました。これで、約1ヵ月ぶりに4兄弟揃っての姿をご覧いただけます。

現在、スピカは、同様の手術を行い、先月26日より展示を再開している3男のリーフとともに、筋力回復に向けてリハビリ中です。

2頭は徐々に運動量を増やすことで、足取りもしっかりしてくると思いますので、引き続き温かく見守ってください。

(これまでの経緯)

今年1月25日に、ホワイトタイガーが4頭(長男:スピカ、次男:マリン、三男:リーフ、四男:アポロ)誕生しました。

当園では、2013年3月にも4頭のホワイトタイガーが生まれており、その時の長男(スカイ)が、後ろ右足の膝蓋骨内方脱臼(しつがいこつないほうだっきゅう)と診断され、同年12月に手術を行いました。

この経験を踏まえ、今回は早期発見・治療を心がけ、2月1日より始めた健康診断時(その後毎週1回実施)に脚の具合を注意して観察していました。また、2月11日には、スカイの手術を行った日大の先生にお越しいただき、診察を行い、同月22日には、レントゲン撮影を行いました。その結果、2頭(スピカ、リーフ)の後ろ脚にスカイ同様、膝蓋骨内方脱臼の症状がみられました。

しかし、体はまだまだ成長過程のため、自然治癒にも期待し、2月23日から保定が可能な限り、脚を曲げ伸ばすマッサージを施しました。(ほぼ毎日約10分間、4月30日まで実施)

その間、3月24日、4月12日に、再び日大の先生による再診、レントゲン撮影を行いました。症状は大きく変わりませんでした。

このままでは、今後、歩行に支障がでてくる可能性があるため、日大生物資源科学部の先生とも相談した結果、6月26日に日大動物病院にて診療を受け、CT検査などの結果、症状が悪化していたリーフの右膝の手術を先行して行いました。そして、7月24日には、リーフの術後の経過観察と、スピカの右膝の手術を行いました。

術後の経過は順調で、7月26日にリーフ、8月3日にスピカの展示を再開しました。

膝蓋骨内方脱臼とは・・・膝のお皿のような形をした骨(膝蓋骨)が内側に脱臼する疾患です。

※ 取材については、動物の体調などにより撮影範囲が限られますのでご相談ください。



スピカ(左)と母親カーラ(右)



リーフ(手前)とスピカ(奥)

〒345-0831 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110

東武レジャー企画株式会社 業務部 山口・中嶋・前田

TEL 0480-93-1200 Fax 0480-92-2694 HP アドレス <http://www.tobuzoo.com>